

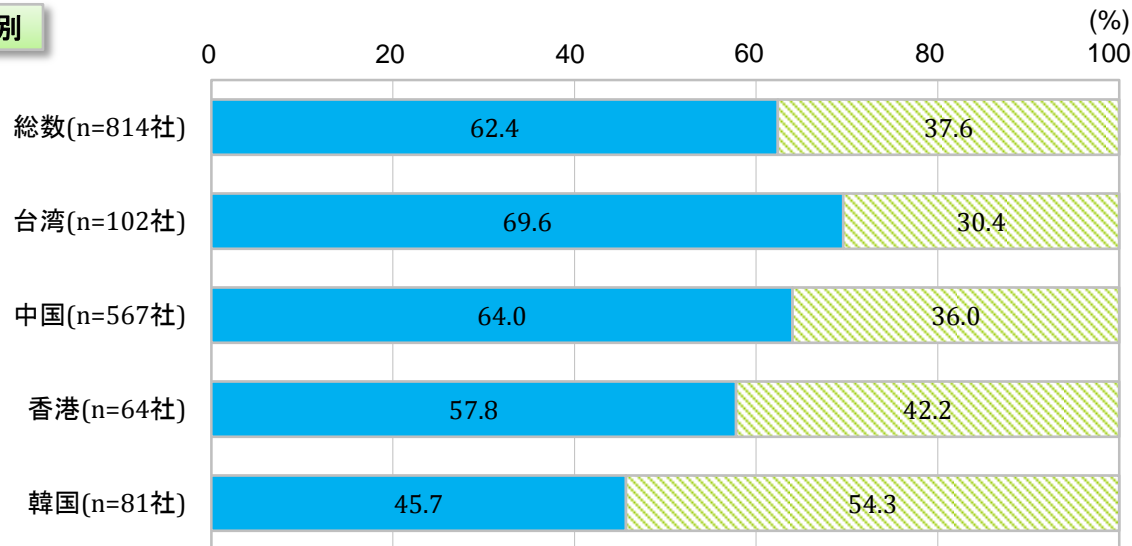
# 3. 輸出入(1)

## 輸出の有無

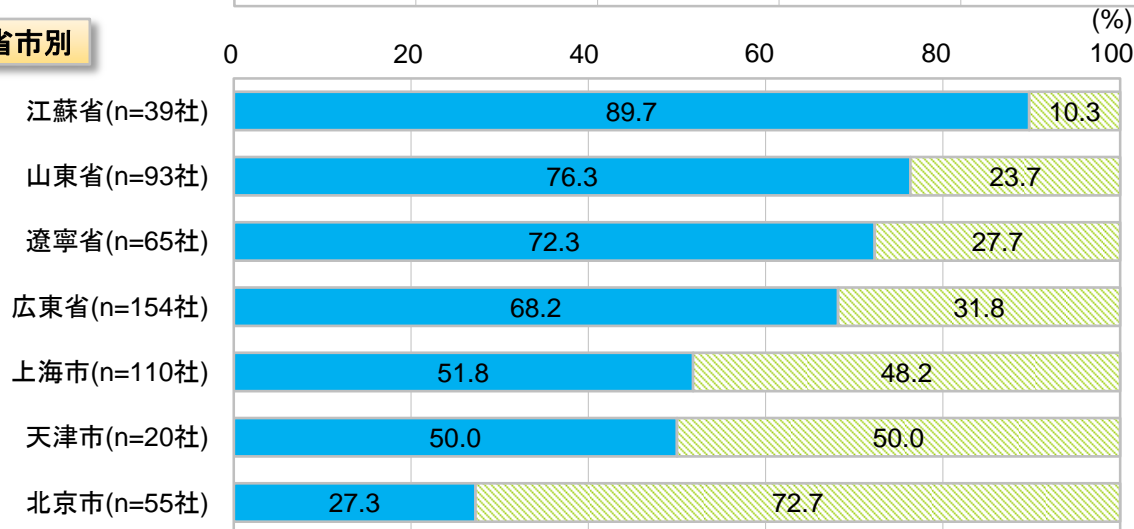
■ 輸出あり

▨ 輸出なし

### 国・地域別



### 中国 省市別

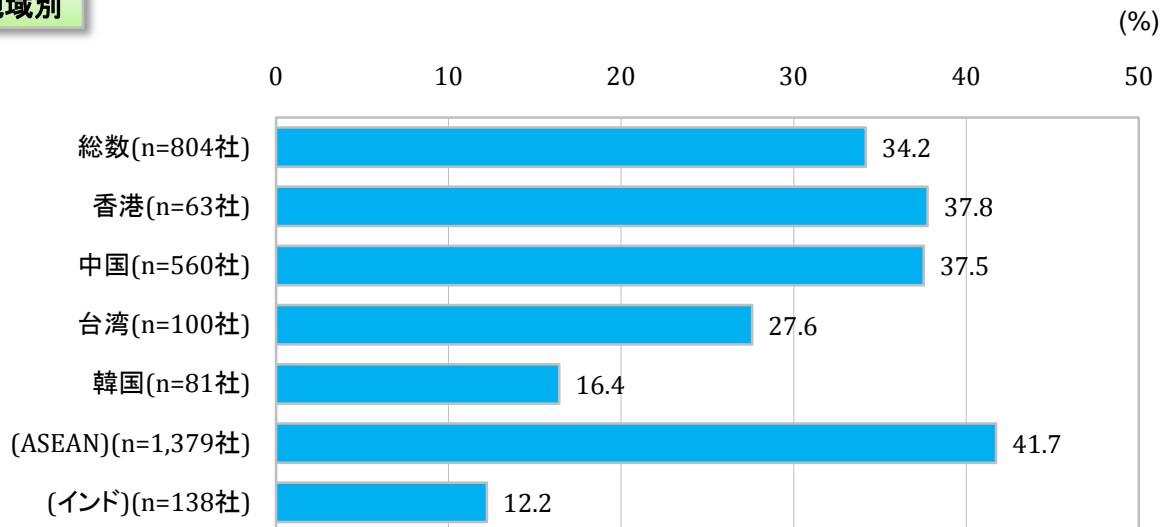


- 輸出を行っている企業の割合は約6割。韓国のみ、過半数を切っている。
- 中国の省市別にみると、江蘇省の9割を筆頭に、輸出型企業が多く進出してきた山東省、遼寧省、広東省で高い。統括会社機能をもつ企業が集中する北京市は3割以下。所在地により、輸出を行う企業が占める割合にばらつきがみられる。

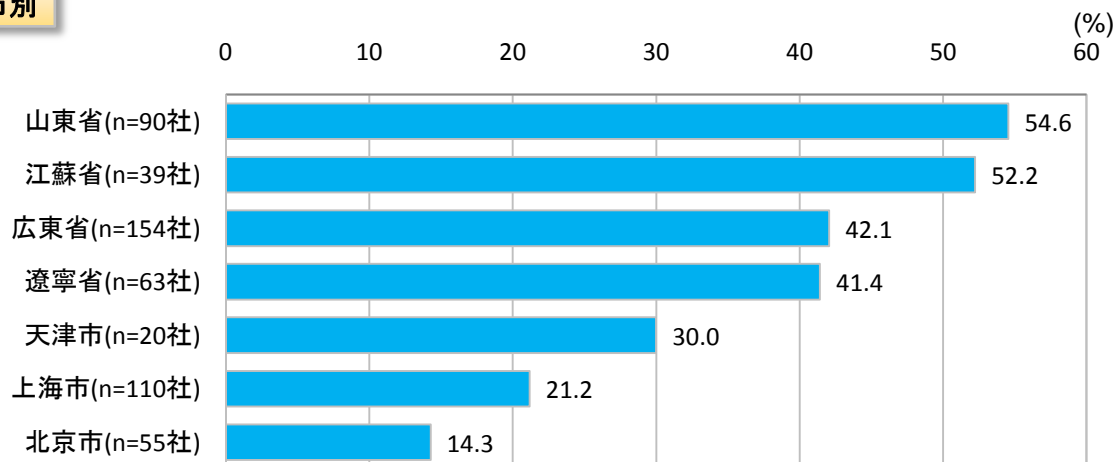
# 3. 輸出入(2)

## 売上高に占める平均輸出比率

### 国・地域別



### 中国 省市別

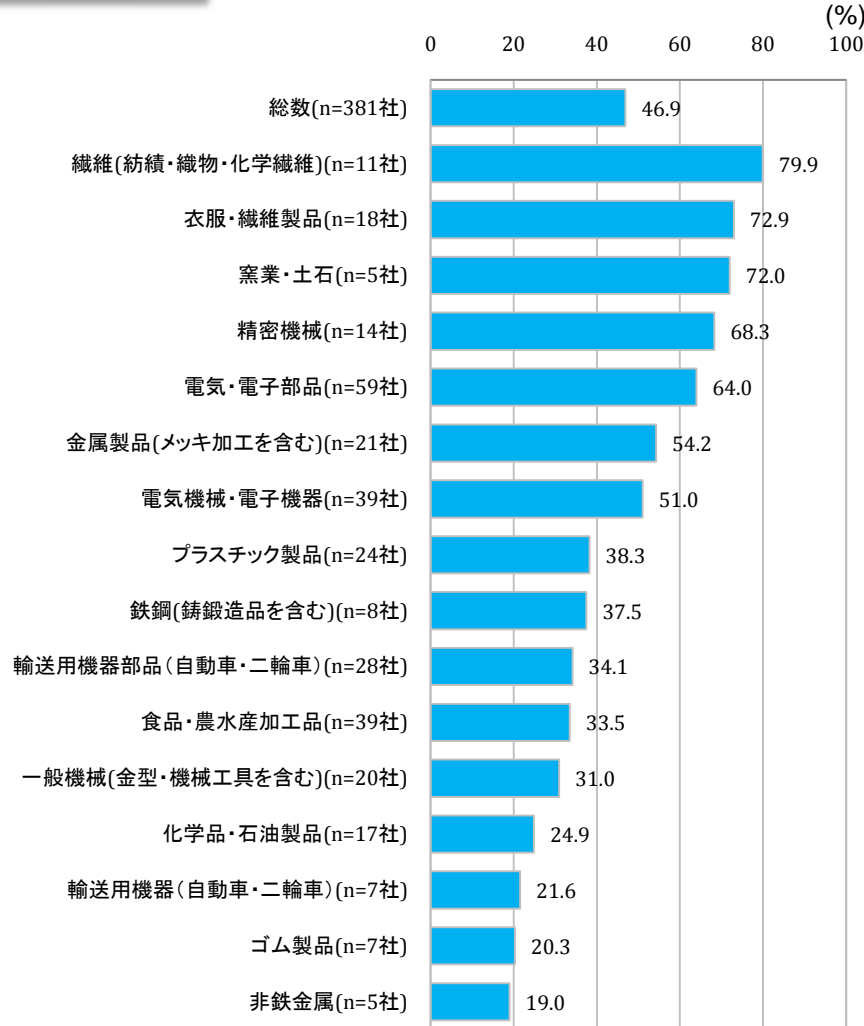


- 売上高に占める輸出比率の平均は、いずれの国・地域も4割未満で、ASEAN進出企業の平均を下回る。
- 中国の省市別には、山東省、江蘇省で5割を上回る一方、天津市、上海市、北京市は3割以下となっている。

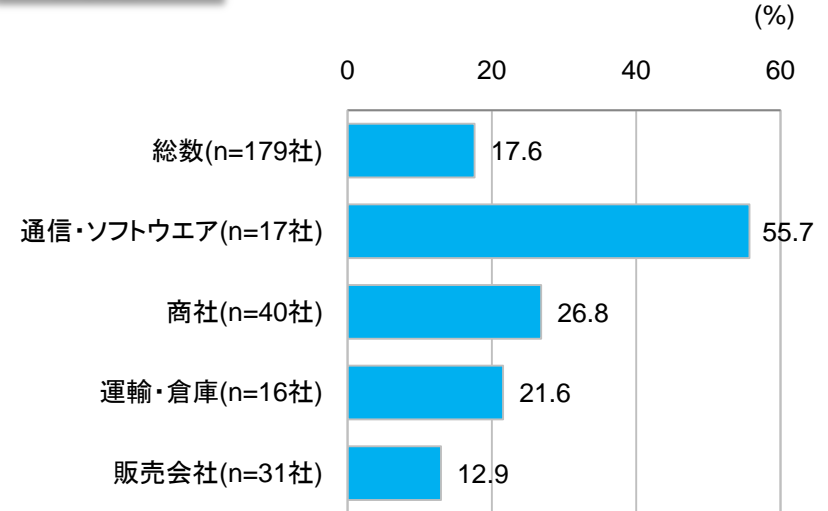
# 3. 輸出入(3)

## 売上高に占める平均輸出比率 (中国 業種別)

### 製造業



### 非製造業



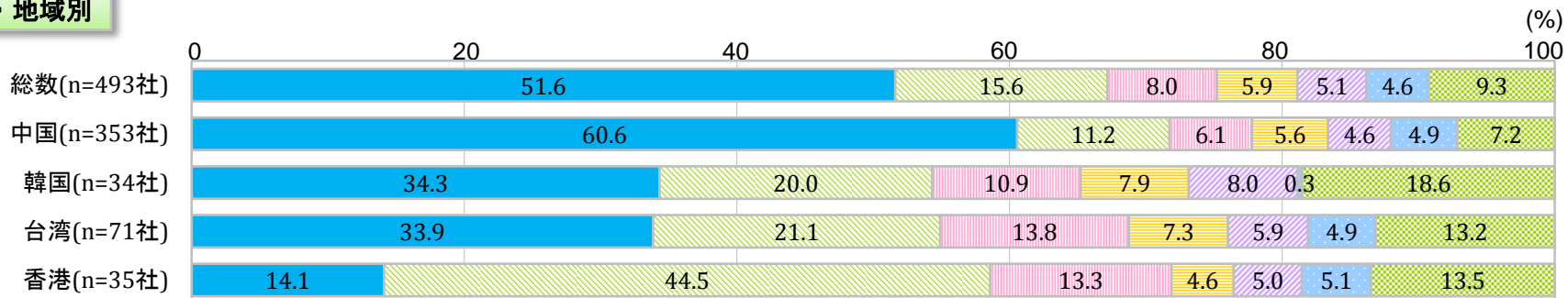
- 売上高に占める輸出比率は、製造業全体で5割弱、繊維、衣服・繊維製品、窯業・土石で7割以上と高い。
- 非製造業では、通信・ソフトウェアで輸出比率が6割弱となっている。

# 3. 輸出入(4)

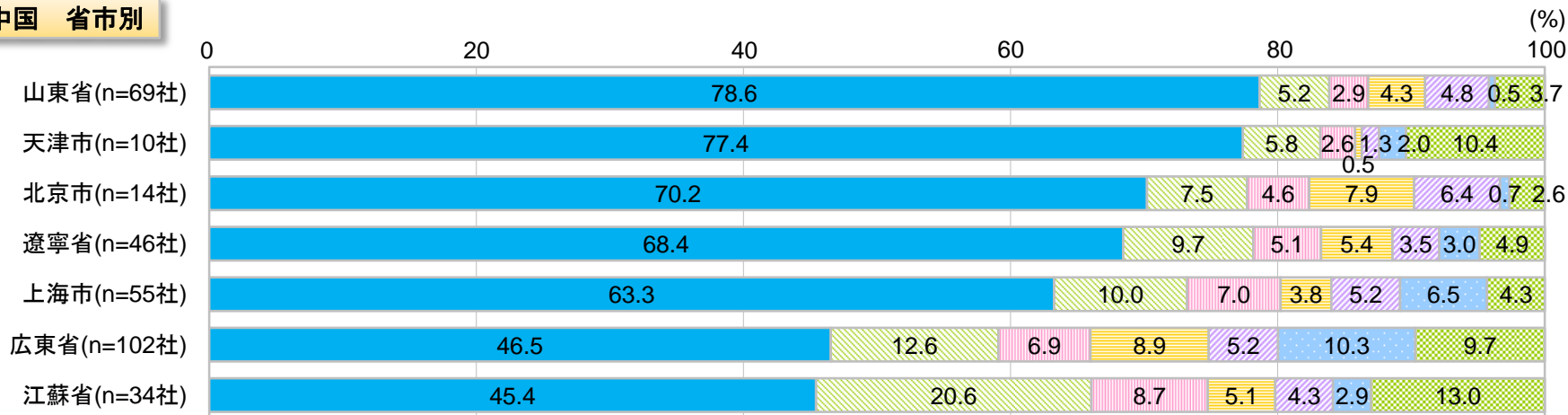
## 輸出先の内訳 (国・地域別)



### 国・地域別



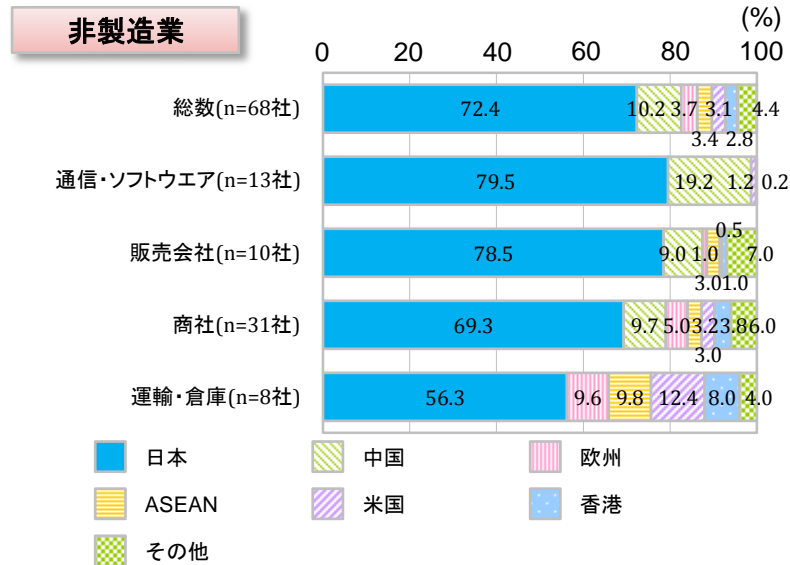
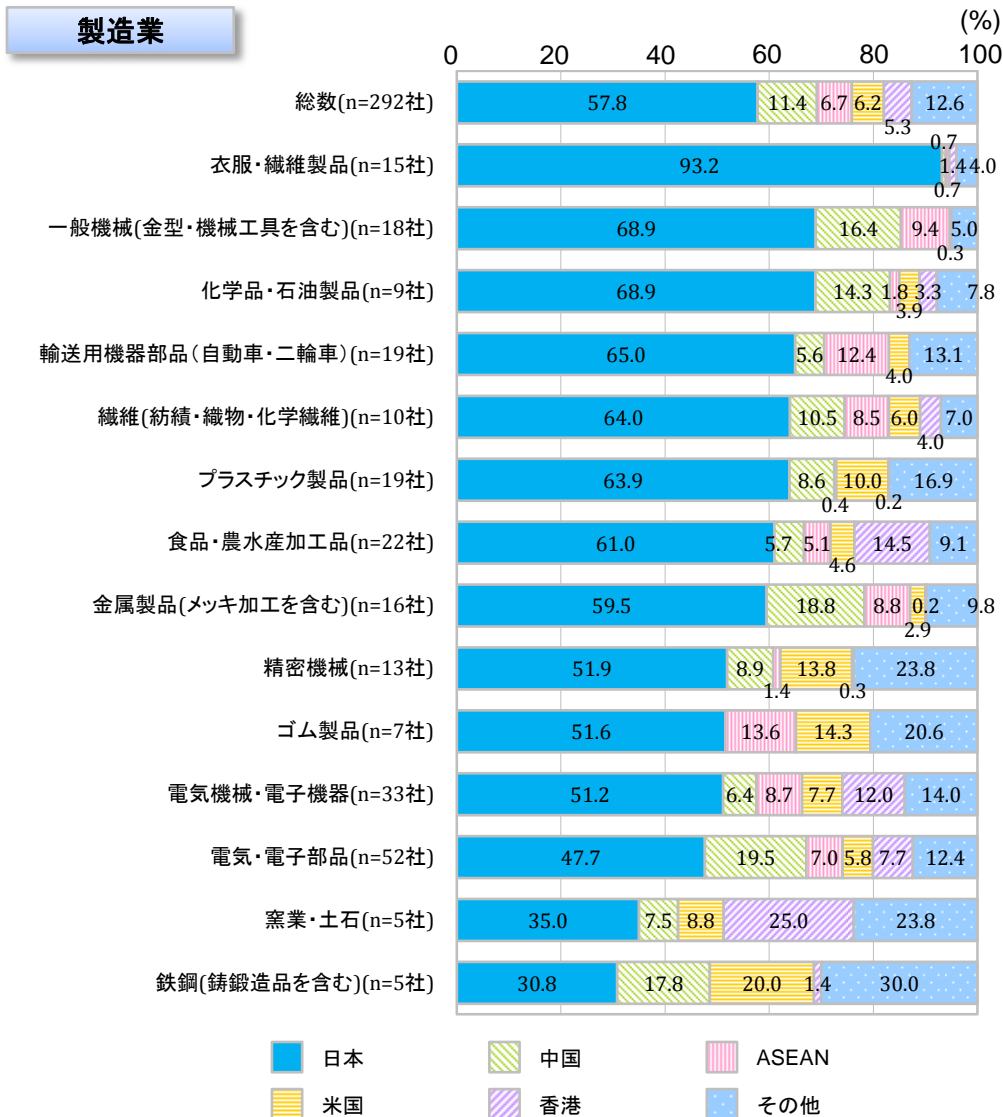
### 中国 省市別



- 輸出先の内訳をみると、「日本」が過半数を占め、「中国」、「ASEAN」、「米国」、「欧州」が続く。「日本」向け輸出は、中国が6割と最も高い。香港では、「中国」向け輸出が最も多く4割を占める。
- 省市別にみると「日本」向け輸出比率が山東省、天津市、北京市、遼寧省、上海市で6割を超える一方、江蘇省、広東省では5割未満となっている。

# 3. 輸出入(5)

## 輸出先の内訳



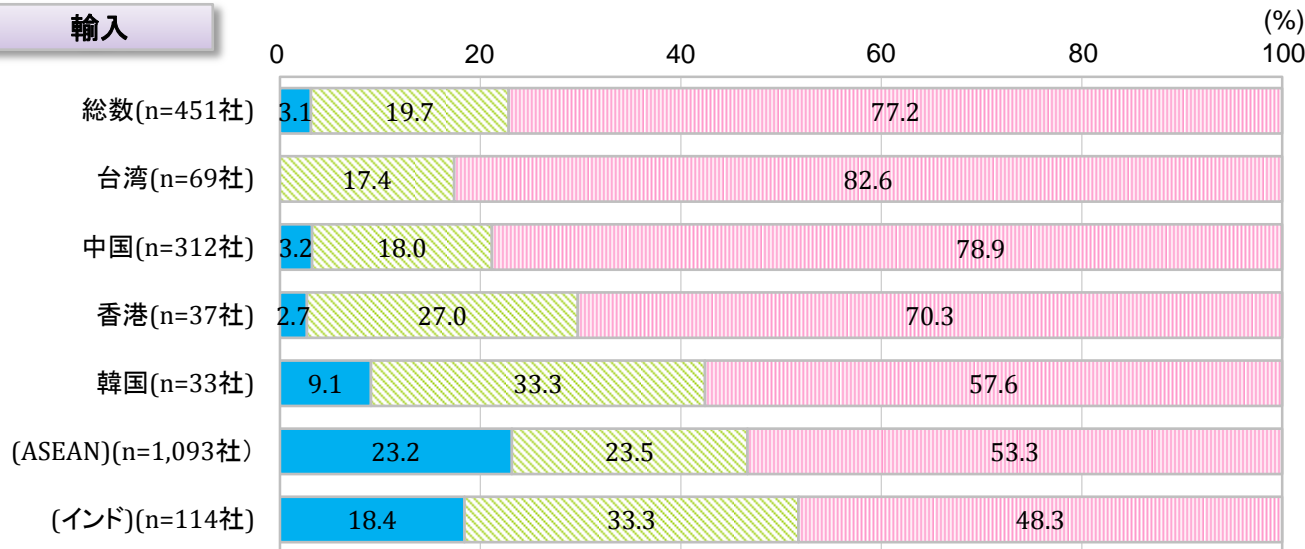
- 業種別にみると製造業全体では輸出先の6割が日本となっている。衣服・繊維製品、一般機械、化学品・石油製品で日本が占める割合が高い。窯業・土石、鉄鋼では4割未満となっている。
- 非製造業では、通信・ソフトウェアで日本向け輸出が8割を占める。

# 3. 輸出入(6)

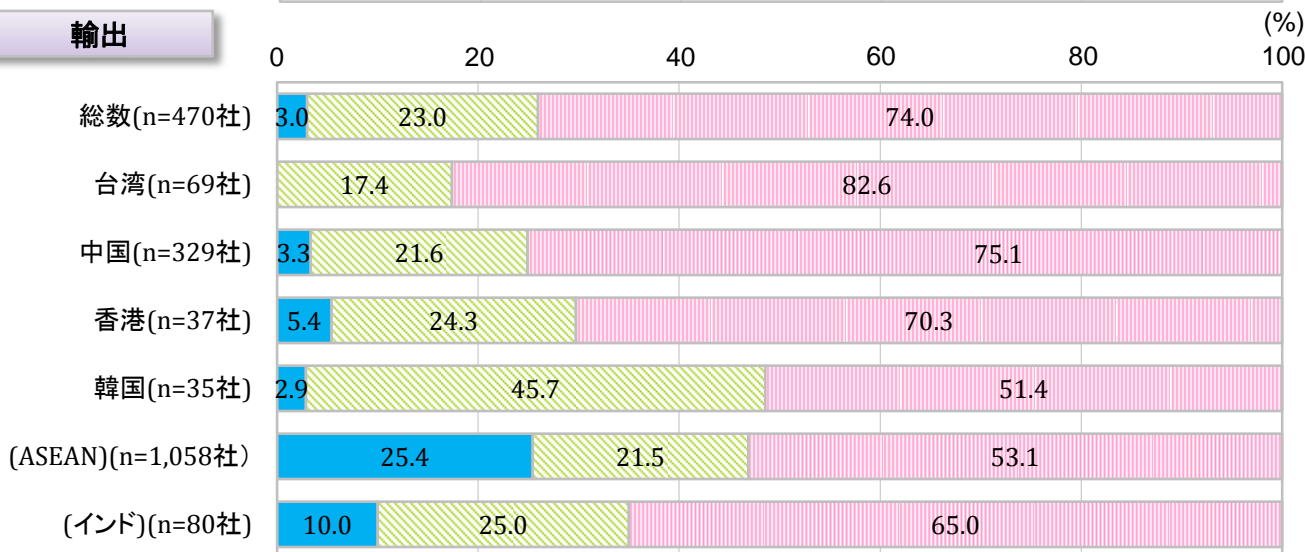
## FTA、EPAの活用 北東アジア+ASEAN、インド

■ 現在、活用中    ■ 活用を検討中    ■ 全く活用予定はない

### 輸入



### 輸出



- 輸出入を行っている企業を対象に、既存(発効済み)の二国間・多国間でのFTA(自由貿易協定)・EPA(経済連携協定)の活用状況について尋ねたところ、「全く活用予定はない」と回答した企業の割合が、輸入、輸出ともに7割を超える。
- ASEAN、インドと比べ、「現在、活用中」の企業の割合は低い。
- FTAを推進している韓国では、「現在、活用中」、「活用を検討中」と回答した企業の割合の合計が輸出入ともに4割強となっている。